

1

リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏
5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏

■ リニア開業効果を高める交通ネットワークの整備

- リニア建設に関する関係機関との調整
 - ▶ 庁内にリニア事業推進室を設置、建設発生土の公共事業等での活用、県内の用地取得への協力
- 名古屋駅からの40分交通圏拡大、周辺都市等への速達性の向上に向けた取組
 - ▶ 鉄道高架事業の促進(知立駅付近連続立体交差事業知立駅部の仮線切り替え完了)(2018年2月)
 - ▶ リニア開業後の東海道新幹線駅の利活用に向けた調査(2017年度豊橋駅、2018年度三河安城駅)
- 広域道路網の整備促進・早期事業化に向けた国等への働きかけ
 - ▶ 新東名高速道路 県内区間開通(2015年度)
 - ▶ 新名神高速道路 新四日市JCT～亀山JCT開通(2018年度)
 - ▶ 東海北陸自動車道 飛騨清見IC～白鳥IC4車線化(2018年度)

■ 国際交流基盤等の整備・機能強化

- 中部国際空港の需要拡大に向けた取組
 - ▶ 新規就航：中国南方航空(2019年8月長沙便)、上海吉祥航空(2019年6月南京便)、山東航空(2019年5月青島便、済南便)など
 - ▶ エアアジア・ジャパン拠点化・新規就航(2017年10月)、ジェットスター・ジャパン拠点化(2018年3月)、LCC向け新ターミナル供用開始(2019年9月)
- 中部国際空港の二本目滑走路整備を始めとする機能強化実現に向けた国への働きかけ

■ 名古屋都心部等への高次機能集積

- 名古屋駅都心部の市街地再開発事業等の支援
 - ▶ 納屋橋東地区市街地再開発事業の完成(2017年度)
 - ▶ 栄地区の優良建築物等整備事業への支援(グランドメゾン御園座竣工 2017年度)
- 市町村への支援体制の強化
 - ▶ 「市町村まちづくり支援窓口」の開設(2019年3月)

■ 東京一極集中の是正と地方創生に向けた取組

- まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進(2019年度次期総合戦略策定予定)
- 「あいちUIJターン支援センター」によるUIJターンの促進に関する取組
 - ▶ 求職者向けセミナー 29回、就職フェア出展 7回、企業向けセミナー 2回(2018年度)
- 東京圏等の若者層をターゲットとした愛知の「住みやすさ」の発信
 - ▶ WEBページ、SNSを活用した情報発信、東京在住の若年女性等を対象とした懇談会の開催、民間情報サイトへの広告記事掲載

■ 自立する大都市圏に向けた取組と中京都構想の推進

- 中京大都市圏づくりの総合的な推進
 - ▶ 「中京大都市圏づくりシンポジウム(セミナー)」の開催、パンフレット等の作成

■ 現代芸術の創造発信拠点としての地位確立

- 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の開催(2016年、2019年)
- 芸術文化センターでの美術展や舞台芸術、陶磁美術館における文化芸術体験プログラムの実施
- 愛知県で活躍する新進芸術家の発掘や表彰、発表の場の提供などの育成支援

■ アジア競技大会開催に向けた取組の推進

- アジア競技大会組織委員会(2019年5月設立)による大会開催に向けた諸計画の検討
- アジア競技大会を活用した地域活性化ビジョン(2019年3月策定)の施策の具体化の実施

■ 全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の育成・招致

- 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」や「新城ラリー」などの開催支援
 - ▶ 「名古屋ウィメンズマラソン」県外・海外からの出場者数：2018年度16,277人
- 「ラグビーワールドカップ2019」の愛知県・豊田市での開催支援

■ 地域魅力の磨き上げ・観光客の誘致

- 「Heart of JAPAN ~Technology&Tradition」をキーワードとした国内外への情報の発信
- 「武将のふるさと愛知」の全国発信、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を通じた忍者観光の推進
- ポップカルチャーイベント開催、世界コスプレサミットの開催支援
 - ▶ ポップカルチャーイベント参加者：約7,000人(2018年度)
- 「あいち山車まつり日本一協議会」による山車文化の情報発信
- 「あいち航空ミュージアム」(2017年11月開業)等を通じた産業観光の推進
- 「杉原千畝広場センポ・スギハラ・メモリアル」の一般公開開始(2018年10月)
- 2022年秋の開業に向け、県、(株)スタジオジブリ及び(株)中日新聞社の三者が連携・協力してジブリパークの整備・運営に取り組む「基本合意」を締結(2019年5月)

■ 国際展示場の整備とMICEの戦略的な誘致・開催

- 「愛知・名古屋MICE推進協議会」によるMICE誘致の取組推進
- 「あいち国際会議開催補助金」による開催支援
- 大規模展示場「Aichi Sky Expo」(2019年8月開業)での大規模イベントの誘致・開催
- G20外務大臣会合(2019年11月)の開催支援及び会合参加者・海外プレス等に向けた愛知県の魅力の発信
- 高級ホテルの誘致

日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点 企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県

■ 県内企業の海外展開支援

- 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）に設置した「あいち国際ビジネスセンター」における相談対応、貿易実務講座や海外展開・国際ビジネスに関するセミナーの開催
 - ▶相談対応 768 件、セミナー実施 81 件（2018 年度）
- 海外産業情報センター（上海、バンコク）、サポートデスク（江蘇省、ベトナム、インド）における海外企業に対する現地支援
 - ▶海外進出拠点に対する現地支援件数
上海：129 件、バンコク：105 件、江蘇省：相談 46 件・意見交換会 4 回、ベトナム：相談 44 件・意見交換会 3 回、インド：相談 42 件・意見交換会 2 回、インドネシア：相談 40 件・意見交換会 2 回（2018 年度）

■ 海外とのパートナーシップの構築

- オーストラリア・ビクトリア州、中国・江蘇省及び中国・広東省との友好連携に基づく交流の推進
- ベトナム、中国・江蘇省、タイ、インドネシアとの経済交流の推進

■ 海外からの人材獲得

- 「愛知のものづくりを支える留学生受入事業」によるアジア諸国からの留学生の受入れ
 - ▶受入数 5 名／年（2018 年度）
- 県立大学及び県立芸術大学における海外大学との国際交流協定に基づく留学生の受入れ
 - ▶受入数：県立大学 58 名、県立芸術大学 4 名（2018 年度）
- 留学生向けインターンシップ及び企業見学ツアーの実施（2014 年度～）
 - ▶インターンシップ 102 名受入れ（2018 年度）

■ 付加価値の高いモノづくりの推進

- 「知の拠点あいち」における「あいちシンクロトン光センター」の運営・機能強化支援
 - ▶利用件数：1,692 件（2018 年度）
- 「知の拠点あいち」における、産学行政連携による共同研究「重点研究プロジェクト」の実施（Ⅱ期（2016～2018 年度）、Ⅲ期（2019～2021 年度））
 - ▶Ⅱ期実績：68 件の試作品・製品を実現、うち 21 件が製品化・実用化（事業終了時点）

■ 自動車産業の高度化と航空宇宙産業・ロボット産業の振興

- 自動車産業の研究開発拠点となる「豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」の推進
- 「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」に基づく充電インフラの整備促進
 - ▶EV・PHV用充電インフラの整備数：1,901 基（1,229 箇所）（2018 年度末時点）

- 「遠隔型自動運転システム」を含む実証実験の実施 ▶2018 年度 7 件
- 国際戦略総合特区「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進、支援措置の活用
- 国際的な展示会・商談会への出展支援 ▶281 件（2018 年度）
- 産業空洞化対策減税基金によるサービスロボット実用化支援（2018 年度～）
 - ▶採択件数：8 件（2018 年度）
- ロボカップ 2017 名古屋世界大会の開催支援、ワールドロボットサミットの開催に向けた準備及びロボカップアジアパシフィック大会の招致

■ 多様な産業の創出・育成

- スタートアップ・エコシステムの形成（2018 年度～）
 - ▶実績：起業家を発掘し、養成する事業の実施 参加者 27 名、アクセラレータープログラムの実施 支援数 8 社
- 「愛知 I o T 推進ラボ」における I o T 関連プロジェクトの発掘・組成・サポートや相談、マッチングの支援、実証実験の支援等

■ 産業人材の育成

- 県立愛知総合工科高等学校における国家戦略特区を活用した全国初となる公設民営化（専攻科）による企業との連携など特色ある取組の推進
- 愛知県産業人材育成支援センターに配置した産業人材育成連携コーディネーターによる職業能力開発に係る相談対応や情報提供の実施
- 2019・2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催及び開催準備
- 愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者顕彰施設の整備
- スーパーサイエンスハイスクールにおける先進的理数教育や、理工系大学と連携した STEM 教育の推進

■ 生産性の高い農林水産業の展開

- ICTを活用した「あいち型植物工場」の導入推進等による、産地の生産基盤強化の取組への支援（2017 年度～）
- 農地中間管理機構の運営支援による担い手への農地集積の促進
 - ▶担い手へ集積された農地面積：累計 2,088ha（2018 年度末）
- ICTを活用した「スマート林業」の導入による林業の成長産業化の推進（2018 年度～）
- 県農林水産研究機関における品質や生産性の向上に資する新品種や新技術等の開発と成果の普及
 - ▶新品種・新技術の開発件数：11 件（2018 年度）
- 漁場造成や栽培漁業の推進などによる漁場の生産力強化
 - ▶栽培漁業センターにおける放流種苗の生産尾数：29,245 千尾・個（2018 年度）

誰もが生涯にわたって活躍できる社会

■ 若者の課題解決能力や社会的自立ができる力の育成

- 働くことや生き方について自らの「考え」を深める小学校での取組 ▶18市町村（2018年度）
- 職場体験学習を核とした系統的なキャリア教育の実施 ▶全中学校（2018年度）
- 県立高等学校でのキャリア教育に関する授業の実施（2017年度入学者より3年間で1単位以上）や全県立高等学校（全日制）でのインターンシップ等の実施
 - ▶インターンシップ体験人数：20,279人（2018年度）

■ 働く場における女性の定着と女性の活躍の場の拡大

- 産業界、関係機関・団体のトップの参画による「あいち女性の活躍促進会議」の開催
- 女性の活躍に向けた企業トップのメッセージを表明する「女性の活躍促進宣言」の募集
 - ▶宣言企業数：1,302社（2018年度末）
- 「あいち女性輝きカンパニー」認証制度（2015年度～）
 - ▶認証企業：513社（2018年度末）
- 女性の活躍プロモーションリーダーと連携した中小企業の取組促進（2018年度～）
 - ▶委嘱企業：50社（2018年度）

■ 結婚支援と安心・安全な妊娠・出産支援

- 「婚活協力団体」（120団体）、「出会い応援団」（63団体）、「プラチナ出会い応援団」（15団体）の登録制度の普及（2018年度末現在）、ライフプランシミュレートウェブサイトの構築（2018年度）
 - ▶出会いのイベント実施数：1,133回（2018年度）
- 若い世代の男女に対し、妊娠・出産に関する知識の普及啓発を図るための健康プログラムの作成（2014年度）、健康教育のモデル実施
 - ▶健康教育の実施：15回（2018年度）
- 不妊専門相談や公開講座の実施、不妊治療（体外受精・顕微授精・人工授精）費への助成
 - ▶体外受精・顕微授精3,351件、人工授精5,660件（2018年度）

■ すべての子ども・子育て家庭への支援

- 保育所や認定こども園、幼稚園等において実施される一時預かりへの助成
 - ▶実施箇所数：606か所（2018年度）
- 第三子以降の3歳未満児の保育料を無償化又は軽減する市町村に対する補助、私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料の無償化に対する補助
- 県庁内への「子どもの貧困対策推進プロジェクトチーム」の設置と、「子どもが輝く未来へのロードマップ」の作成（2017年度）

■ 支援が必要となっても安心して暮らせる地域づくり

- 介護事業所の一時的な人手不足に対応するための新たな人材バンク「あいち介護サポーターバンク」の設置
 - ▶サポーター登録者数 333人（2018年度末）
- 地域包括ケアシステムの構築に向けたモデル事業（安城市始め6市）、団地モデル事業（春日井市高蔵寺ニュータウン）の実施
 - ▶地域包括ケアシステムの構築に取り組む市町村数 52市町村（2019年7月時点）
- 認知症サポーター等の養成
 - ▶サポーター養成数 449,517人（2018年度末累計）
- 国立長寿医療研究センターと連携した認知症対策（認知症予防運動プログラムの作成、市町村等への研修・実地指導、プラチナ長寿健診（老年症候群の早期発見））

■ 特別支援教育の充実

- 特別支援学校の長時間通学や過大化解消のための新たな学校の整備
 - ▶大府もちのき特別支援学校（2018年4月開校）、瀬戸つばき特別支援学校（2019年4月開校）
 - 西三河南部地区新設特別支援学校（2022年4月開校予定）
- 教員の専門性向上のための幼児児童生徒の状況や学習内容を踏まえた研修の充実
- インクルーシブ教育システム構築に向けた幼稚園・保育所、小中・高等学校と特別支援学校との交流・共同学習
- 特別支援学校における就労支援の充実
 - ▶就労アドバイザーを拠点3校に各1名配置、知的障害特別支援学校8校に職業コース設置

災害や犯罪への備えのある安心安全な地域社会

■ 災害から県民の生命・財産を守る強靱な県土づくり

- 無料耐震診断、耐震改修費の補助の実施（1981年以前の耐震基準で建てられた戸建て・共同住宅）
 - ▶診断補助：5,439戸、改修補助：484戸（2018年度）、住宅の耐震化率：85.8%（2013年）
- ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備
 - ▶愛西市（旧永和荘跡地）で2022年度供用開始予定、西三河南部地域の整備拠点として西尾市行用町を選定
- 地域の強靱化に向けた研究開発・人材育成のための産学官連携による「あいち・なごや強靱化共創センター」の設置（2017年6月）

持続可能な発展を可能にする社会

■ 持続可能なエネルギー社会の構築

- 太陽光発電施設等の住宅用地球温暖化対策設備の設置補助
 - ▶住宅用太陽光発電設備の普及基数：18.4万基（2018年12月末現在）
- 産・学・行政の協働による「あいち低炭素水素サプライチェーン推進会議」の設置（2017年度～）
- 水素の製造、輸送、利用に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「低炭素水素認証制度」の全国初の制定（2018年度）
 - ▶認証数4件（2019年7月末時点）

尾張地域 リニア開業のインパクトを受け止め、世界に開かれた、人・モノ・情報が活発に行き交う大都市地域

世界とつながる玄関口としての機能強化

- 「名古屋駅周辺まちづくり構想（2014年9月：名古屋市）」に基づく名古屋駅のスーパーターミナル化に向けた取組
- 中部国際空港の需要拡大に向けた取組

大都市名古屋をはじめ、各都市の魅力を生かした地域の賑わいの創出

- 2022年秋の開業に向け、ジブリパークの整備・運営に係る「基本合意」を締結（2019年5月）
- 大規模展示場「Aichi Sky Expo」（2019年8月開業）での大規模イベントの誘致・開催

次世代産業の育成・強化と地域産業の活性化

- 県営名古屋空港及び周辺での民間航空機生産・整備拠点の整備（駐機場・駐機場進入路等）
- 国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」における企業支援

大都市地域としての利便性を生かした、質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

- 名古屋駅都心部の市街地再開発事業等の支援
- 「あいち小児保健医療総合センター」における小児3次救急の実施（2016年2月開始）
- 国立長寿医療研究センターと連携した認知症対策
- 「心身障害者コロニー」（春日井市）の再編及び、障害児者の医療や地域での生活を支援する拠点としての「医療療育総合センター」の整備（2019年3月開所）

災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- 地域の強靱化に向けた研究開発・人材育成のため、産学官連携による「あいち・なごや強靱化共創センター」の設置（2017年6月）

西三河地域 愛知の成長を牽引する次世代のモノづくりと環境の取組が調和した活力ある地域

次世代のモノづくりを牽引する産業の中核性の維持・強化

- 「知の拠点あいち」の「あいち産業科学技術総合センター」における依頼試験や技術相談・指導、試作・評価による企業の製品開発支援、研究成果の発信
- 自動車産業の研究開発拠点となる「豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」の推進

産業と自然が調和する環境先進地域の形成

- 下水汚泥のエネルギー利用の実施（矢作川浄化センター、衣浦東部浄化センター）
- 県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵の浄化対策（油ヶ淵清流ルネッサンスⅡ）を実施

産業や歴史、自然等を生かした地域の魅力の創造・発信

- NPO等との協働による県産ジビエのPR
- 「ラグビーワールドカップ2019」の愛知県・豊田市での開催支援

活発な産業活動と質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

- 名古屋駅からの40分交通圏拡大、周辺都市等への速達性の向上に向けた取組
- 区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進
 - ▶豊田市駅前通り北地区、知立駅北地区における市街地再開発事業への支援

災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備
 - ▶西三河南部地域の整備拠点として西尾市行用町を選定

東三河地域 「ほの国」の魅力あふれる多彩な地域資源を生かし、豊かさが実感できる暮らしと多様な産業が展開する地域

豊かな自然をはじめ、地域資源を生かした東三河の魅力の創造・発信

- 「愛知県交流居住センター」、「三河の山里サポートデスク」による三河山間地域への移住・定住の支援
- 「2018アーバンリサーチISAワールドサーフィンゲームス」や「新城ラリー」などの開催支援
- 三河湾大感謝祭の開催や三河湾環境再生パートナーシップ・クラブの運営などの三河湾環境再生プロジェクトの実施 ▶参加者約6,000人（2018年）、会員28団体（2019年7月末時点）

地域の特色を生かした多様な産業の育成・強化

- 産業空洞化対策減税基金の活用による立地補助
 - ▶新あいち創造産業立地補助金：東三河地区 9件（2018年度）
- ICTを活用した「あいち型植物工場」の導入推進等による産地の生産基盤強化の取組への支援（2017年度～）
- 漁場造成や栽培漁業の推進などによる漁場の生産力強化

地域のポテンシャルを引き出し、産業と質の高い快適な暮らしを支える基盤づくり

- 「愛知県港湾物流ビジョン」（2018年3月）に基づく三河港の機能強化
- 区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進
 - ▶豊橋駅前大通二丁目地区における市街地開発事業、JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅周辺、JR・名鉄蒲郡駅周辺等における土地区画整理事業への支援

災害に強く安心・安全に暮らせる地域づくり

- 上下水道、道路、港湾、漁港、河川、海岸、農業水利施設等の耐震性強化・津波対策の推進

東三河県庁や地域の各主体が一体となって進める地域力と連携力の強化

- 今後の東三河における地域づくりの羅針盤である「東三河振興ビジョン」（2013年3月策定）に基づくプロジェクトの推進
- 「第26回三遠南信サミット2018 in 東三河」の開催（2018年10月豊橋市）